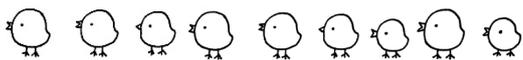


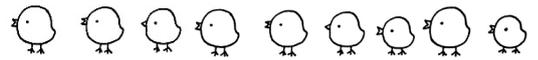


# 11月 ことりグループだより

2023.11.1



よろしくね!



ワクワクとした気持ち、ドキドキと緊張した気持ちと様々な気持ちを経験したうんどうあそびの日が終わり、ホッとする姿が見られました。10/3には、「グループかわるかな?」「なにグループになろうかな」とまた違ったドキドキのばらのグループ替えがありました。さくらさんも「お相手さんが変わるかも」とドキドキ…。ゆりさんは去年に経験したことを思い出しながら、楽しみにしている姿がそれぞれに見られました。みんなで集まって礼拝を守ったあと、グループ替えの発表をしました。グループが変わって呼ばれると、「え〜!」と驚きとワクワクの声が出て、グループが変わらず呼ばれると安心した様子の表情が見られました。グループが変わったお友だちはバッチなどの色が変わり、「きいろだ〜」「ことりさんだ」と楽しみにする姿がありました。その日から新しいことりグループさんになって給食を食べました。ばらさんがドキドキする中、さくらさん、ゆりさんもドキドキする様子がありました。新しいグループで過ごしてきて、お相手さんとお話ししたり、お手伝いをしたり、一緒にあそんだりと楽しんでいます。まだまだ一緒に楽しいことをして過ごしていこうと思います。



11月6日にす1の10人のお友だちがお引越ししてきます。

7月から交流がはじまり、すみれさんが2階にあそびに来ると、さくらさんも少しお兄さんお姉さんになった気持ちで様子を見に行く姿が出てきて、交流の後には「じぶんのことはじぶんです」と頑張る姿が出て来ています。ばらさんに「ゆりさんはさくらさんのお手伝いをするから、ばらさんがすみれさんのお手伝いをしてあげてね。」と声を掛けると“つぎは自分たちが頑張るんだ!”と、ゆりさんに代わって綺麗にテーブル拭きをしてくれたり、ゆりさんより早くお着替えを終わらせようと頑張る姿が増えてきています。交流の時間が終わり、すみれさんがお部屋に戻る時には、手を繋いでお部屋まで送ってくれる姿から、すみれさんの移行を楽しみにしている感じが感じられます。これから一緒に過ごす時間が長くなっていく中で、どんどん仲良くなって、すみれさんを迎え入れる心の準備をしていきたいと思っています。



おいもほりに行ってきました。おいもほりの絵本を見ていると、大きいの取れるかな、小さいの取れるかな、何個とれるかな?と楽しみにしていました。グループのお友だちと手を繋いで河川敷にあるおいも畑へ歩いて行きました。持ってきたスコップを使って、「よいしょ、よいしょ」と掘っていきます。お芋を掘り進める途中で、虫がいたり、土が硬くてなかなか掘れなかったりと苦戦しながらもお友だちと協力しながら、手よりも大きいお芋や、小さいお芋が取れました。取れると「みてみて〜!」と大喜びの子どもたち。園のあそびでもお芋やりんごなど、秋の食べ物のぬいさしやぬりこみをして楽しんでいます。お部屋の壁に貼っていくと、「おいもの土を作ろう!」「リンゴの木を作ろう!」とゆりさん、ばらさんが5枚折りや3枚折りで作りました。そこに作ったお芋などを貼って、お部屋を秋模様にして楽しんでいます。



裏面もあります。



## 災害復興支援の取り組み

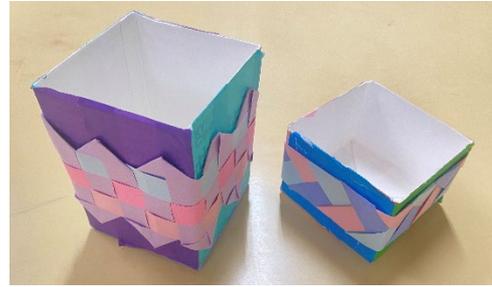
今年も復興支援の取り組みを行います。子どもたちが作った、しおりやオーナメント、クリップ、マグネットなどを園内で販売します。集まったお金は色々な災害で困っている人たちに義援金として送らせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

### しおり



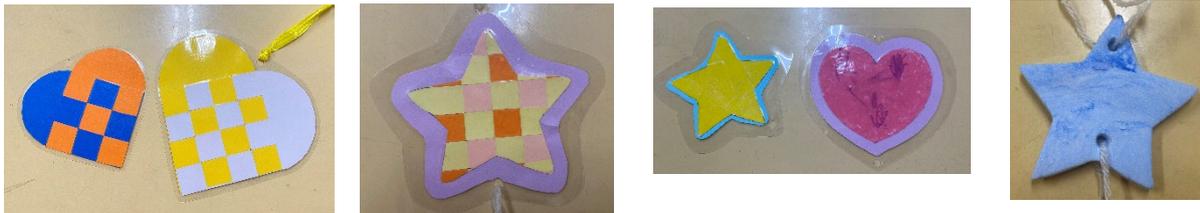
ばらさんゆりさんは、三枚折りをします。  
さくらさんは、はさみ切りをして、のりで貼ります。

### 小物入れ



牛乳パックの周りに、折り紙をちぎったりして貼ります。その周りには、三枚折りや王冠折りを貼って可愛くしていきますよ。

### オーナメント



ゆりさんは、ハートや星の織紙を、さくらさんばらさんは、ぬりこみやちぎり絵で、みんなで紙粘土を好きな形に型抜きをして、それぞれオーナメントにしていきます。

### クリップ



紙粘土を好きな形で型抜きをし、可愛くキラキラをつけて、クリップにつけます。

### メモスタンド (ゆりさん)



紙粘土とボンドを混ぜて作ったホイップクリームを絞って、クリップをさして作ります。



## おねがい

通園かばんにつけているキーホルダーについてのお願いです。

登降園時以外にも、子どもたちは園生活の中で通園かばんを使用しています。大きいものや壊れやすいものだと、引っかかったり踏んでしまうことがあり、ケガにつながる恐れもあります。また、お友だちの物が気になって触ってしまい、トラブルにつながることもあります。

自分の持ち物の目印につけてくださっているご家庭もあります。子どもたちには、「小さくて壊れにくいもので、付けるのは一つだけにしようね。」とお話していますので、またお家でも子どもたちと相談して下さると助かります。